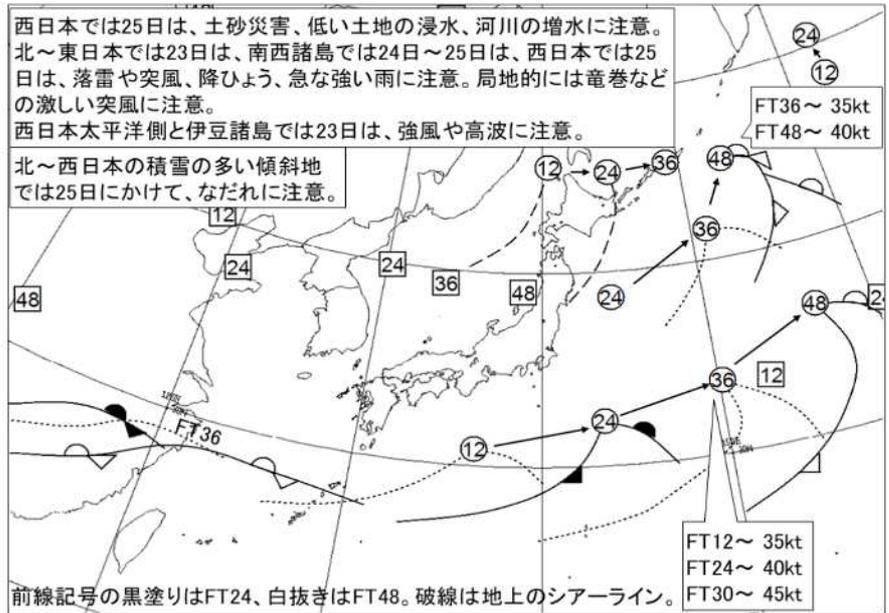


1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5700m付近のトラフが西日本を東進。前線が南西諸島を通過して日本の南へのびており、前線上の四国の南には低気圧があって東進。その北側の伊豆諸島付近から日本の東にも気圧の谷がのびている。東シナ海～日本の南～日本の東で強い雨や激しい雨を解析し、雷を検知。
- ② 500hPa 5460m付近で-30℃以下の寒気を伴うトラフが中国東北区にあって、東南東進。トラフに対応した地上低気圧が沿海州付近を東北東進。



主要じょう乱解説図

- ③ 500hPa 5580m付近で-24℃以下の寒気を伴うトラフが朝鮮半島付近を東南東進。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は、23日夜にかけて日本の南から日本の東へ進み、伊豆諸島から日本の東の気圧の谷はゆっくりと北上。上空トラフや気圧の谷の影響で、大気の状態が不安定となる所がある。伊豆諸島では23日は、落雷や突風、急な強い雨に注意。また、低気圧周辺では気圧の傾きが大きくなり、やや強い風が吹いて波が高くなる所がある。西日本太平洋側と伊豆諸島では23日は、強風や高波に注意。
- ② 1項②③のトラフは、23日夜～24日はじめにかけて位相を合わせて東～北日本を通過する。1項②の低気圧は宗谷海峡付近から千島近海へ進み、地上のシアーラインが23日夜にかけて北日本を通過する。低気圧に向かう下層暖湿気や地上シアーライン、上空寒気の影響で大気の状態が不安定となる所がある。北～東日本では23日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。
- ③ 500hPa 5460～5580mのリッジに対応し、高気圧が25日にかけて中国東北区から日本の東へ移動する。
- ④ 500hPa 5700m付近の強風軸に対応して、24日は前線が再び華中から南西諸島付近へのび、25日には日本の南へのびて、前線上の低気圧が日本の南を東進する。前線や低気圧に向かう下層暖湿気の影響で、大気の状態が非常に不安定となって激しい雨が降り、大雨となる所がある。西日本では25日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意。南西諸島では24日～25日は、西日本では25日は、落雷や突風、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。この低気圧は23日に日本の南を進む低気圧より上空トラフとの対応が良く、低気圧が発達して強い下層暖湿気が流入する可能性があることに留意。
- ⑤ 2項①④の低気圧による降水や、2項③の高気圧に覆われ、23日は西日本で、24日は北～西日本で、25日は北～東日本では晴れることによる気温上昇の影響で雪解けが進む。北～西日本の積雪の多い傾斜地では25日にかけて、なだれに注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等] ① 雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。② 降雪量(06時からの24時間)：多い所(注意報級以上)はない。③ 波浪(明日まで)：伊豆諸島3m。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。